

「しんきんJリートオープン(毎月決算型)」が
「R&I ファンド大賞 2008」において、優秀ファンド賞を受賞いたしました。

格付投資情報センター(R&I)が優れた運用成績を示したファンドを表彰する「R&I ファンド大賞 2008」において、「しんきんJリートオープン(毎月決算型)」が投資信託／国内 REIT 部門優秀ファンド賞を受賞いたしましたのでお知らせいたします。

【投資信託／国内 REIT 部門】

優秀ファンド賞

「しんきんJリートオープン(毎月決算型)」

■「R&Iファンド大賞」について

「R&Iファンド大賞」は、過去のデータに基づいたものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、投資の参考となる情報を提供することのみを目的としており、投資家に当該ファンドの購入、売却、保有を推奨するものではありません。また、当社の顧客に対して提供している定性評価情報とは関係ありません。当大賞は信頼すべき情報に基づいて格付投資情報センターが算出したものであり、その正確性及び完全性は必ずしも保証されていません。当大賞に関する著作権その他の権利は、格付投資情報センターに帰属します。当社の許諾無く、これらの情報を使用(複製、改変、送信、頒布、切除を含む)することを禁じます。「投資信託／総合部門」の各カテゴリーについては、受賞運用会社の該当ファンドの平均的な運用実績を評価したもので、必ずしも受賞運用会社の全ての個別ファンドそれぞれについて運用実績が優れていることを示すものではありません。投信の基準価額等は QUICK 調べ。

■「R&Iファンド大賞」の概要

「投資信託」、「投資信託／総合部門」は確定拠出年金専用ファンドを除く国内籍公募追加型株式投信、「確定拠出年金」は確定拠出年金向けに利用される国内籍公募追加型株式投信、「確定給付年金」は『R&I ユニバース計測サービス』に登録されているファンド、を対象にしており、いずれも基本的にR&Iによる分類をベースとしている。選考は、「投資信託」、「確定拠出年金」、「確定給付年金」では 2006、2007、2008 年それぞれの3月末時点における1年間の運用実績データを用いた定量評価がいずれも上位 75%に入っているファンドに関して、2008 年 3 月末における3年間の定量評価によるランキングに基づいて表彰している。定量評価は、「投資信託」、「確定拠出年金」では「シャープ・レシオ」を採用、表彰対象は設定から3年以上かつ償還予定日まで1年以上の期間を有し、残高が 10 億円以上かつカテゴリー内で上位 75%以上の条件を満たすファンドとしている。「確定給付年金」では定量評価として「インフォメーション・レシオ」を採用している。なお、「投資信託」、「確定拠出年金」では上位 1ファンドを「最優秀ファンド賞」、次位 2ファンド程度を「優秀ファンド賞」として表彰している。「確定給付年金」では受賞区分を設けていない。「投資信託／総合部門」では、2008 年 3 月末においてトラックレコード3年以上かつ残高 10 億円以上のファンドを3本以上設定する運用会社を表彰対象とし、各ファンドの3年間ににおける「シャープ・レシオ」の残高加重平均値によるランキングに基づき、上位 1社を「最優秀賞」、次位 1社を「優秀賞」として表彰している。詳細はR&Iのウェブサイト(<http://www.r-i.co.jp/toushin/>)をご覧ください。



■受賞ファンドについて「しんきんJリートオープン(毎月決算型)」

＜ファンドのリスクと手数料等＞

当ファンドは、実質的に不動産投資信託証券など値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本は保証されているものではありません。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。

投資家の皆様におかれましては、投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みいただき、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、お申込みいただきますようお願いいたします。

ファンドの基準価額は、以下の要因等により変動する場合があります。

(1)価格変動リスク	不動産投資信託証券の市場価格は、取引所における投資家の需給動向により影響を受けるほか、不動産市況、金利情勢、経済情勢等様々な要因によって変動します。不動産投資信託証券の価格を変動させる要因として、 1.保有する不動産等の評価額や賃料収入の変動および組入れ資産の入替え等による運用成果の影響 2.不動産投資信託証券が金融機関等から借入れを行っている場合、金利上昇等による利息負担の増大による影響 3.不動産等にかかる法制度の変更による影響 4.人的災害、自然災害、環境問題の顕在化等、予測不可能な偶発事象の発生による保有不動産の滅失、毀損、劣化等による影響 などがあります。
(2)分配金の変動リスク	不動産投資信託証券の分配金は、主として保有する不動産等の賃料収入に依存しています。不動産等にかかる賃料収入は、不動産等の稼働率の低下、テナントによる賃料の支払い債務の不履行・遅延等により、大きく減少する可能性があります。このような場合、不動産投資信託証券の分配金(配当金)に影響をおよぼす要因となります。
(3)流動性リスク	購入の申込みや解約の申込みに伴い不動産投資信託証券の受益証券を売買する際、不動産投資信託証券は、上場株式と比べて市場規模が小さく、取引量が少ないため、希望する価格での売買ができない場合があります。
(4)信用リスク	不動産投資信託証券を発行する不動産投資法人が債務超過や債務不履行に陥った場合、あるいはそうなることが予想される場合には、大きな損失が発生する可能性があります。
(5)同一マザーファンドを投資対象とする他のベビーファンドによる影響	当ファンドが投資対象とするマザーファンドについて、マザーファンドを投資対象とする他のベビーファンドにおける資金流入や資産配分の変更等によりマザーファンド組入れ有価証券等の売買が発生した場合には、その売買による組入れ有価証券等の価格の変化や売買コスト等の負担がマザーファンドの価額に影響を及ぼすことがあります。これによりマザーファンドの価額が下落した場合には、ファンドの基準価額が下落する要因となります。
留意点	金融商品取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、お買付けおよびご換金のお申込みの受付を中止することがあります。この場合、受益者は当該受付中止以前に行った当日のお買付けおよびご換金のお申込みを撤回することができます。受益者がそのお申込みを撤回しない場合には、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日にお申込みを受付けたものとして取扱います。



<お申込みメモ>

- ・投資タイミングをとらえて、原則として毎営業日にお買付け、ご換金のお申込みをすることができます。
- ・各営業日の午後3時(年末年始など半休日においては午前11時)までに、お買付け、ご換金のお申込みが行われ、かつ、そのお買付けおよびご換金のお申込みの受付にかかる販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日のお申込分として取扱います。この時刻を過ぎて行われるお申込みは、翌営業日以降の扱いとなります。

申込手数料	お買付金額に応じて、お買付価額に2.10%(税抜2.00%)を上限に、販売会社が個別に定める手数料率を乗じて得た額とします。
信託報酬	計算期間を通じて毎日計算し、投資信託財産の純資産総額に対して年率0.9975%(税抜年率0.95%)の率を乗じて得た額とします。
信託財産留保額	当ファンドには換金手数料はありませんが、換金請求受付日の基準価額に0.30%の率を乗じて得た額が信託財産留保額として差し引かれます。
その他の費用	監査費用・信託財産に関する租税・信託事務の処理に要する諸費用および有価証券売買時の売買委託手数料等は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。また、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。当該手数料等の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をお読みください。

- 1 上記記載内容は、しんきんアセットマネジメント投信株式会社が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。取得の申込みにあたっては投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。
- 2 請求目論見書については、販売会社にご請求いただければ、当該販売会社を通じて交付いたします。
- 3 投資信託は、預金保険の対象ではありません。
- 4 投資信託は、預金と異なり、元本の保証はありません。
- 5 投資した資産の減少を含むリスクは購入者であるお客様の負担になります。
- 6 金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

